

# グラフで見る関西経済 (2020年11月)

2020年11月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

## 今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

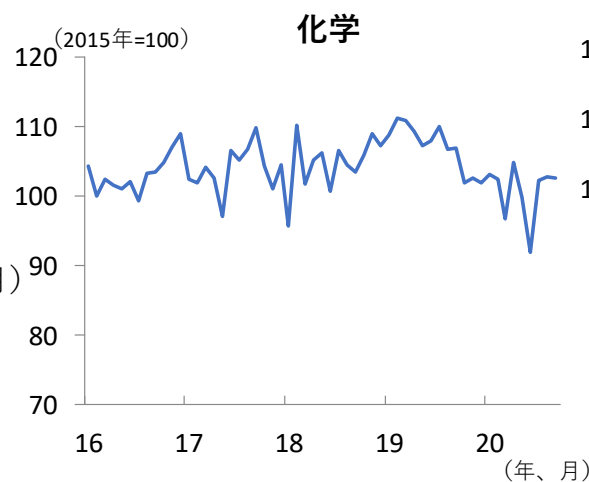
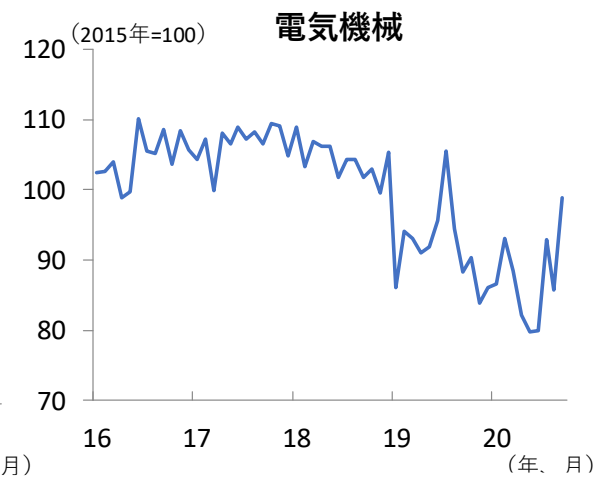
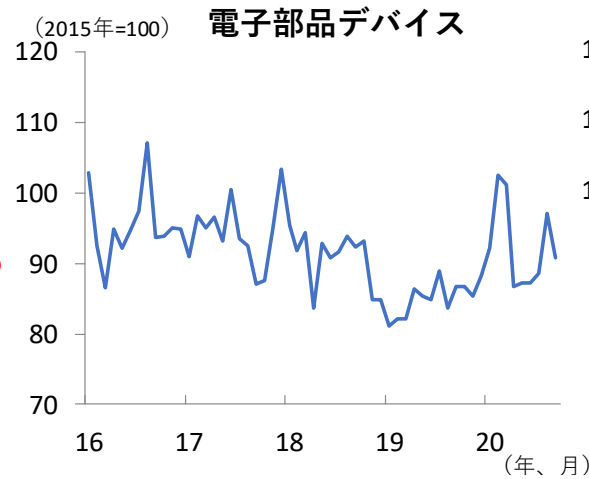
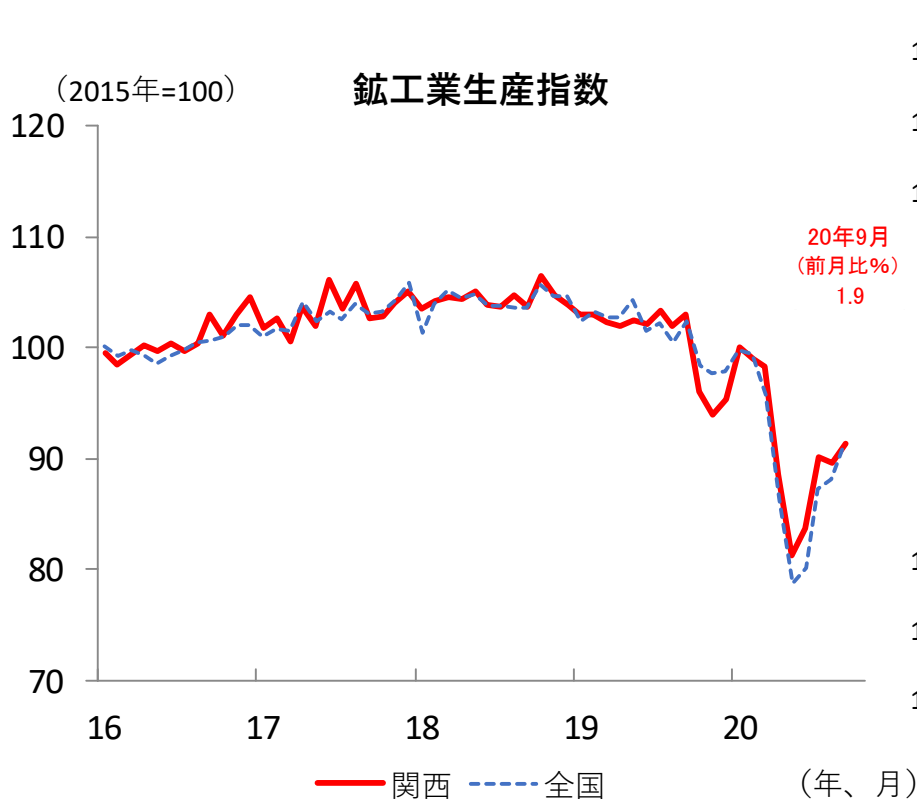
### 【今月のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、生産、輸出などを中心に持ち直している
- 生産は2ヶ月ぶりに前月比で増加。電気機械が大幅増となり、全体としても持ち直している
- 10月の実質輸出は前月比+9.2%と5ヶ月連続で上昇、2018年1月以来の水準となった
- 賃金は2府4県すべてで減少
- 個人消費関連指標は、このところ下げ止まりの動きがみられるが、9月は前年同月の消費税率引き上げ前の駆け込み消費の反動で大幅減となった。インバウンド蒸発の影響もあり、全国に比べ弱い動きとなっている

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	持ち直している
設備投資	増勢が鈍化している
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	下げ止まりの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

# 生産

9月の鉱工業生産は前月比+1.9%と2ヶ月ぶりに増加した。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械が減少したが、電気機械(リチウムイオン蓄電池)が増加した。前年比では-9.6%減。先行きについては持ち直しが見込まれる。

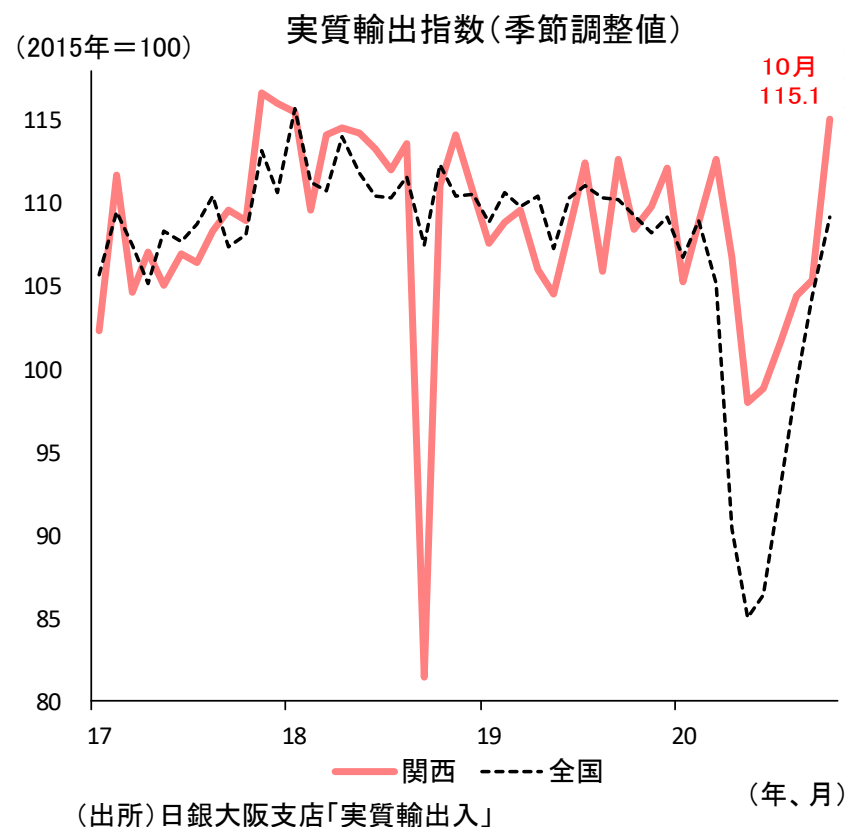
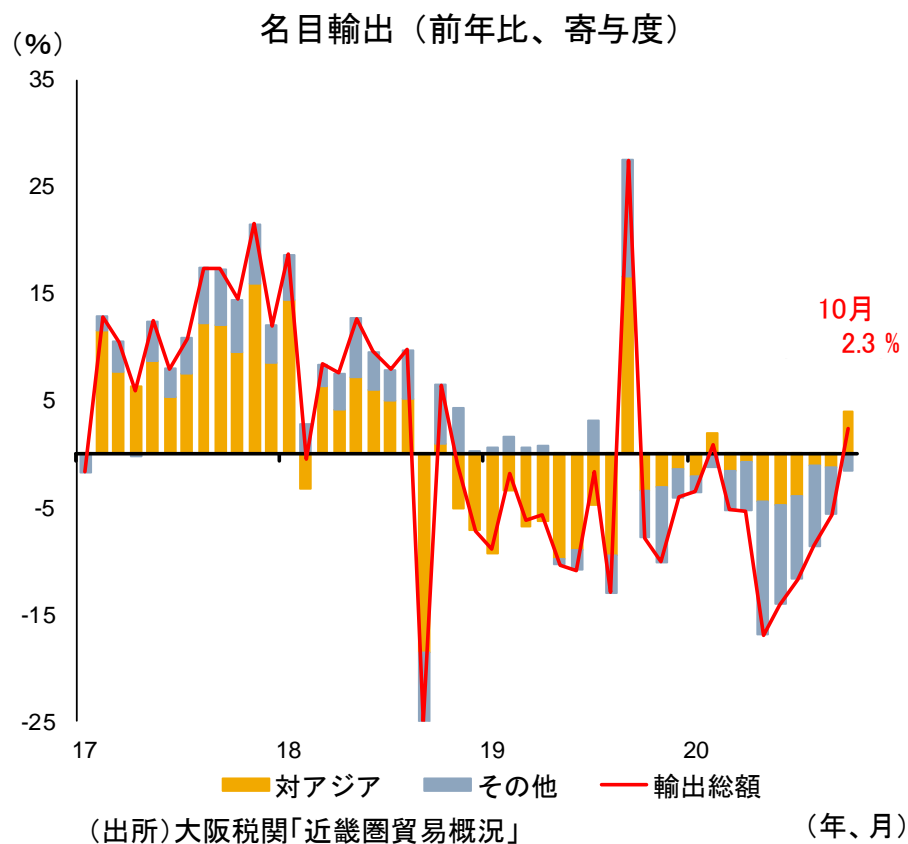


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

# 輸出

10月の名目輸出額は前年比+2.3%と8ヶ月ぶりに増加した。地域別では中国を含むアジア向けが8ヶ月ぶりに増加、品目別では医薬品が過去最高額を記録し、非鉄金属が10月としては過去最高となった。

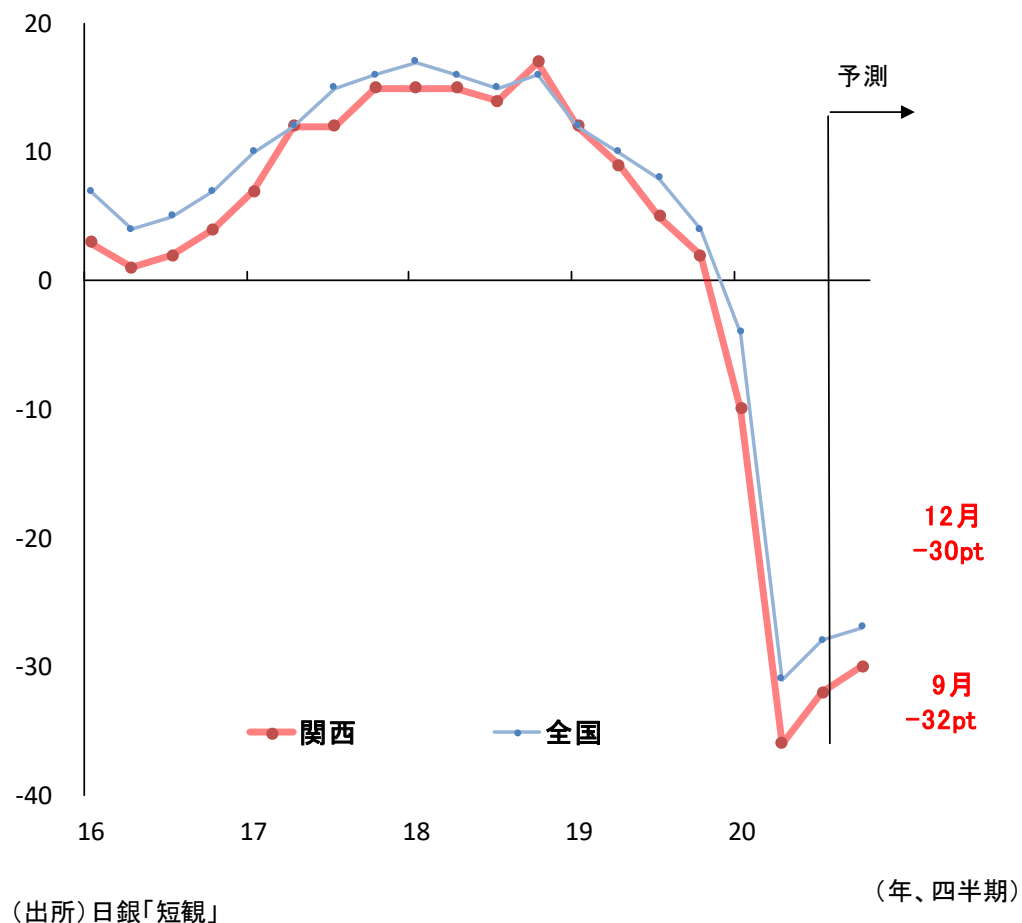
10月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+9.2%と大幅増、5ヶ月連続で上昇した。2018年1月以来の水準となった。



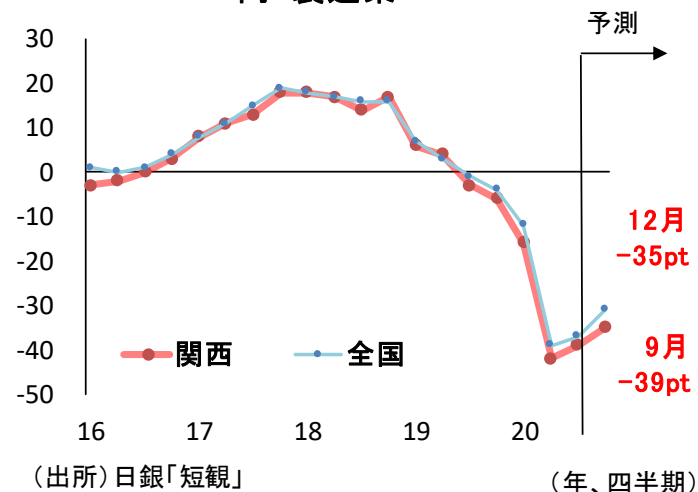
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/14公表予定

日銀短観9月調査の業況判断DIは全産業で-32ptと6月から改善。製造業は-39pt、非製造業は-25pt。先行き(12月)については、全産業、製造業は改善、非製造業は悪化が見込まれている。

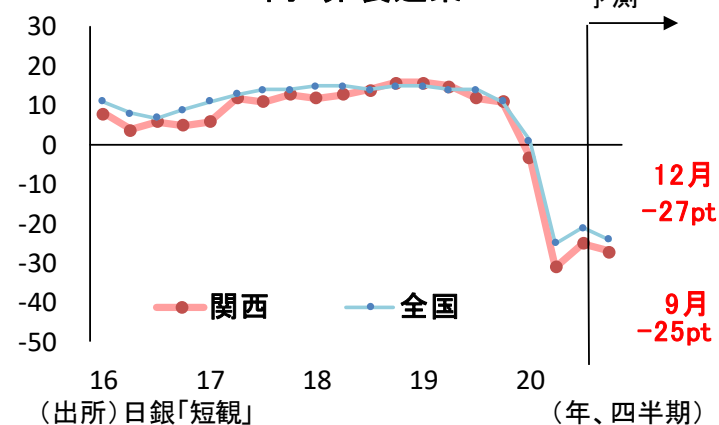
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

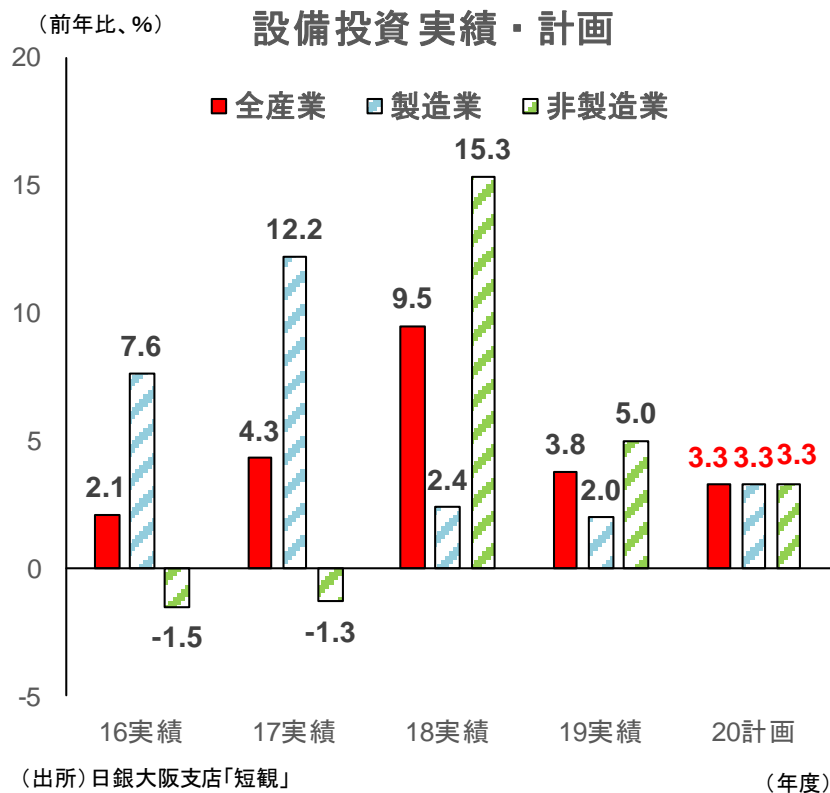


同 非製造業



# 設備投資 ※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/14公表予定

日銀短観9月調査によると、20年度の設備投資(計画)は前年比+3.3%の増加が見込まれている。製造業、非製造業ともに+3.3%増加の見込みであるが、いずれも6月調査に比べ下方修正となった。宿泊・飲食サービスが同-34.6%と大幅減が見込まれている。



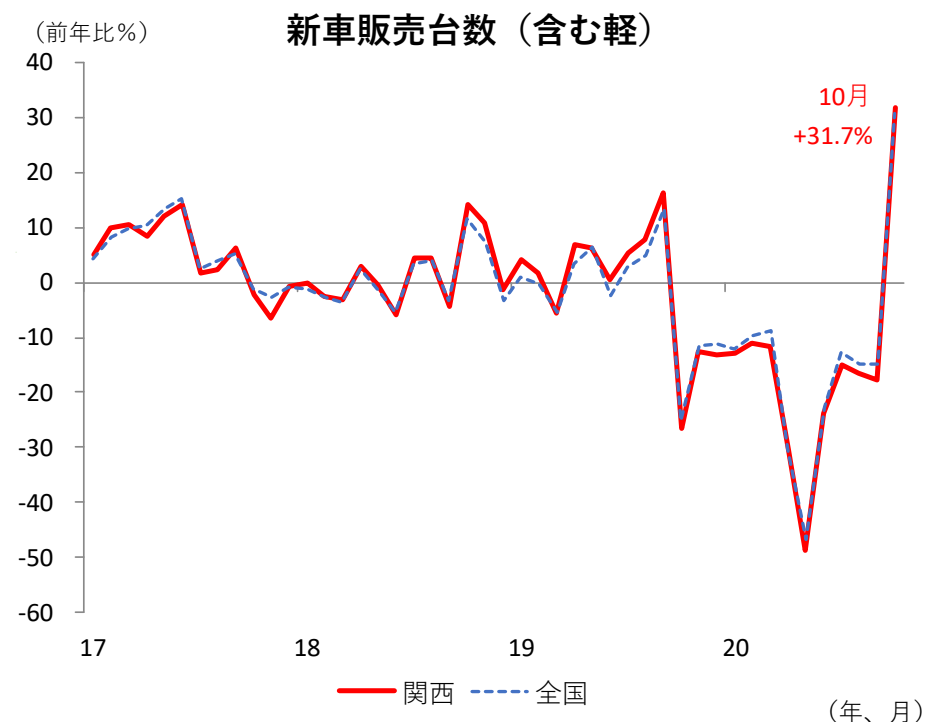
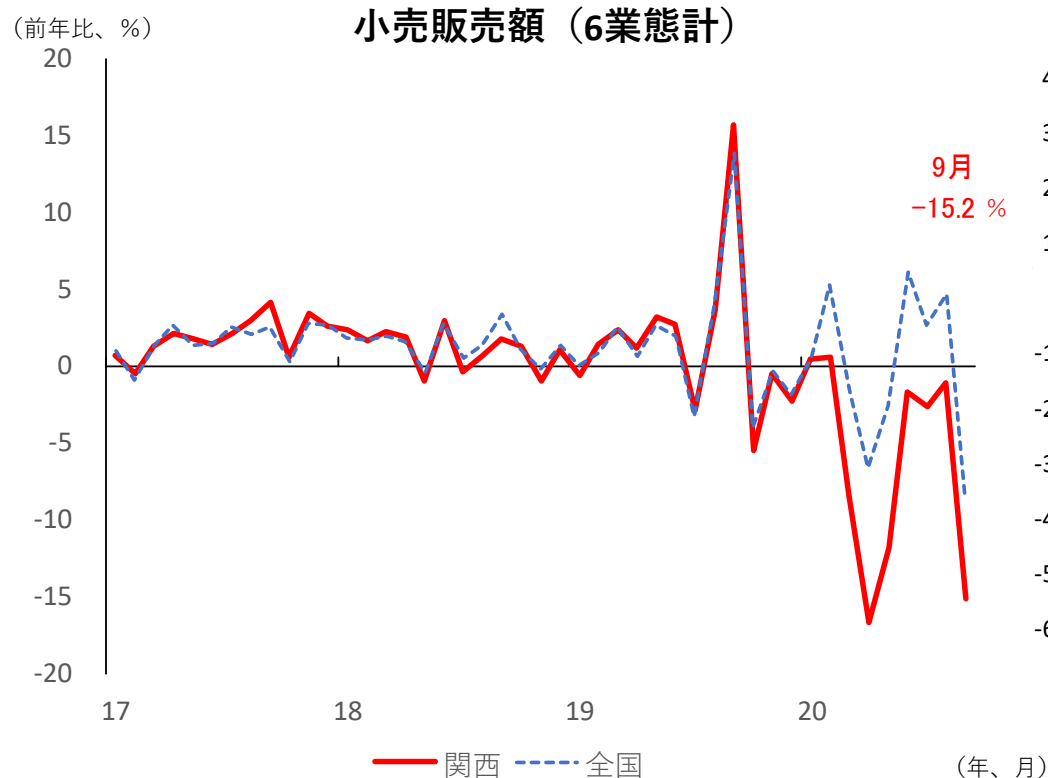
**設備投資額(前年比%)**

	19年度実績	20年度計画	
		今回	6月調査時 [差異]
全産業	3.8	<b>3.3</b>	6.9 -3.6
製造業	2.0	<b>3.3</b>	6.6 -3.3
非製造業	5.0	<b>3.3</b>	7.1 -3.8

# 個人消費(小売売上、自動車販売)

9月の小売販売額は、前年同月が消費税率引き上げ直前の駆け込みで高水準であったことの反動により、前年比-15.2%と大幅減。インバウンド蒸発の影響もあって全国と比べて弱い動きが続いている。

10月の新車販売は、前年同月が消費税率引き上げ直後で低水準であったことの反動で前年比+31.7%の大幅増となった。



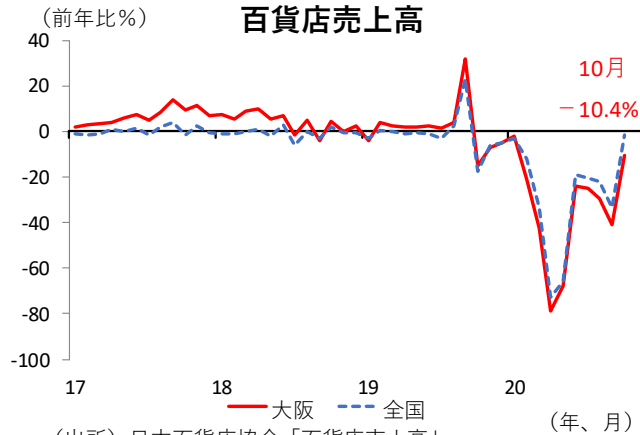
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」  
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

# 個人消費(業態別)

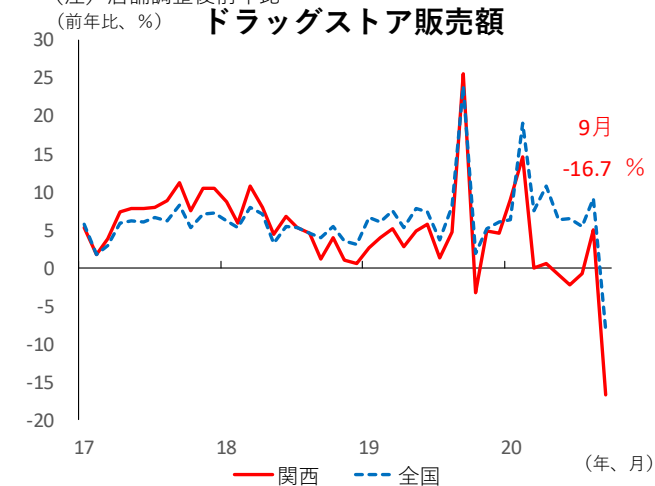
10月の百貨店売上(大阪)は、インバウンド蒸発の影響で前年比-10.4%と大幅減が続くが、前年同月が消費税率引き上げ直後で水準が低かったことから減少幅は縮小した。免税売上は引き続きほぼ消失状態。9月のドラッグストア、家電は前年の消費税率引き上げ前の駆け込みの反動で大幅減。



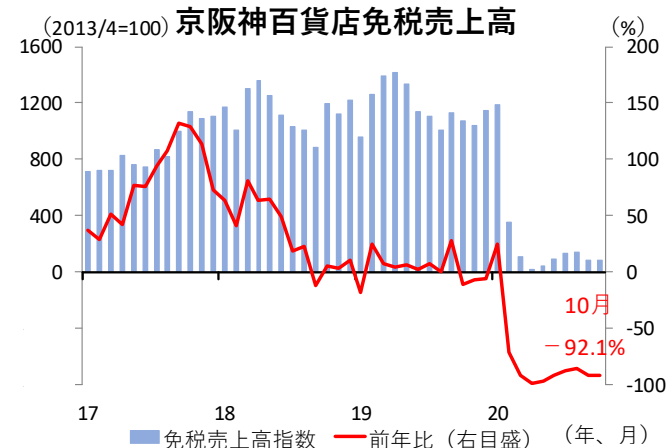
(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

(注) 店舗調整後前年比

(前年比、%)

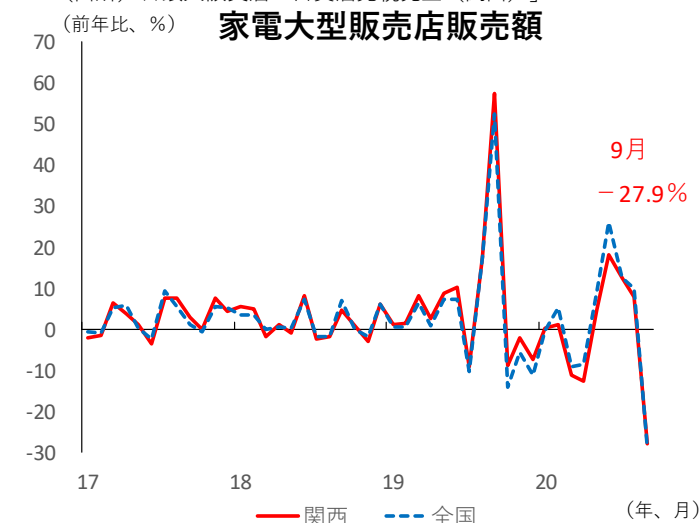


(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」

(前年比、%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



# マインド・景況感

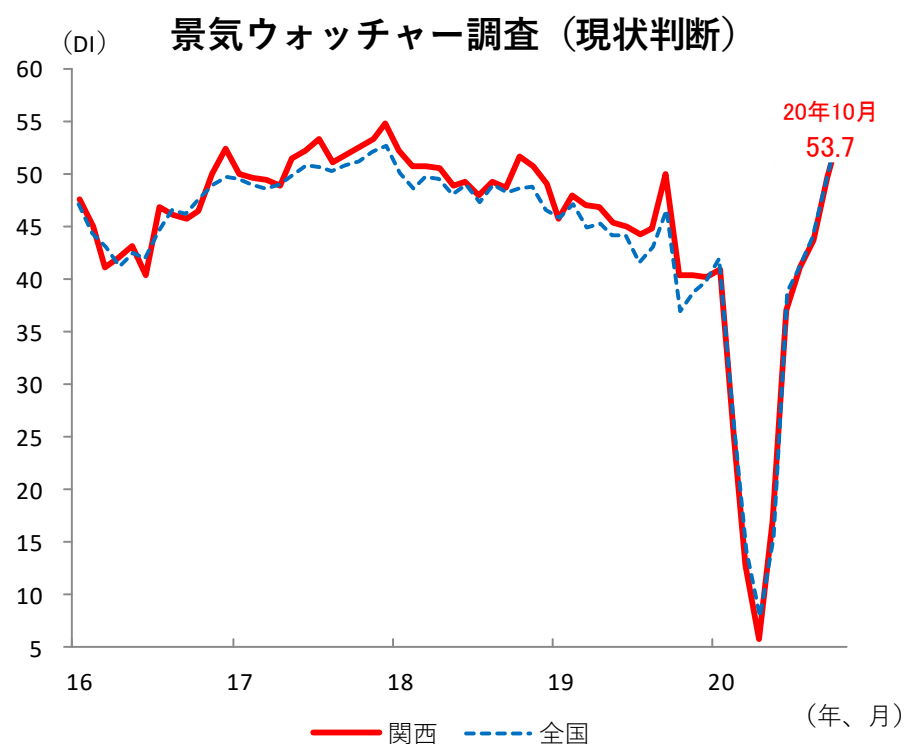
10月の消費者態度指数(季節調整値)は32.6 と前月より小幅上昇。

景気ウォッチャー調査の現状判断DI(季節調整値)は53.7 と6ヶ月連続で上昇した。



(注)関西の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」

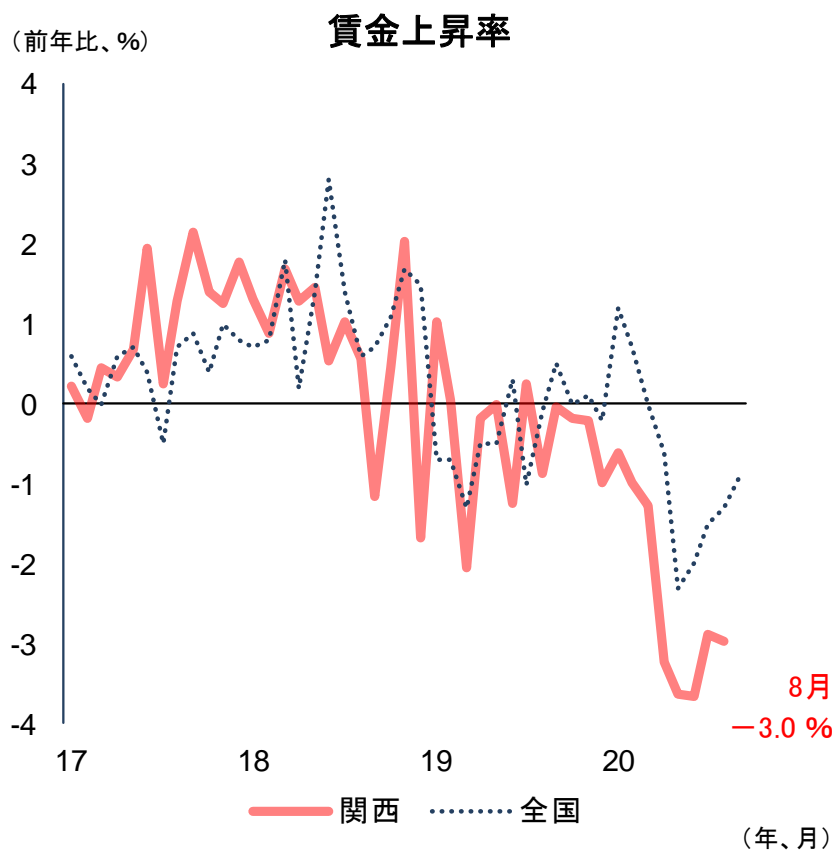


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

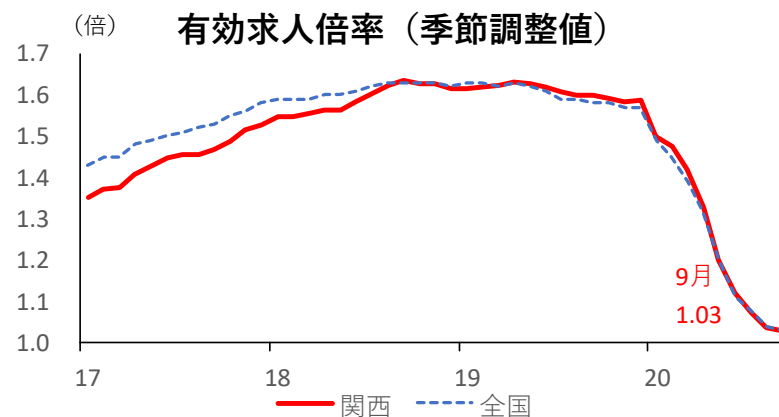
8月の名目賃金指数は、前年比-3.0%と13ヶ月連続で前年比で減少。2府4県すべてで減少した。

9月の有効求人倍率は1.03倍と9ヶ月連続で低下。求人数が減少し、求職者数が増加した。20年第3四半期の失業率は3.1%と前期から小幅上昇。就業者数は小幅減少した。

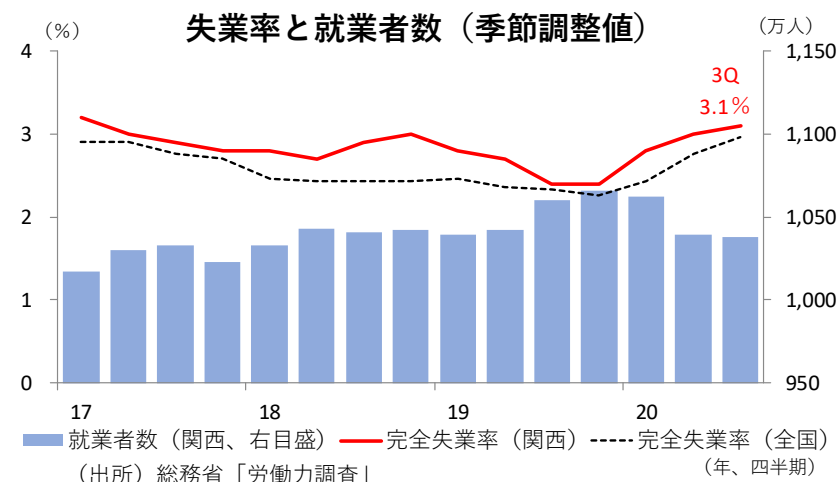


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



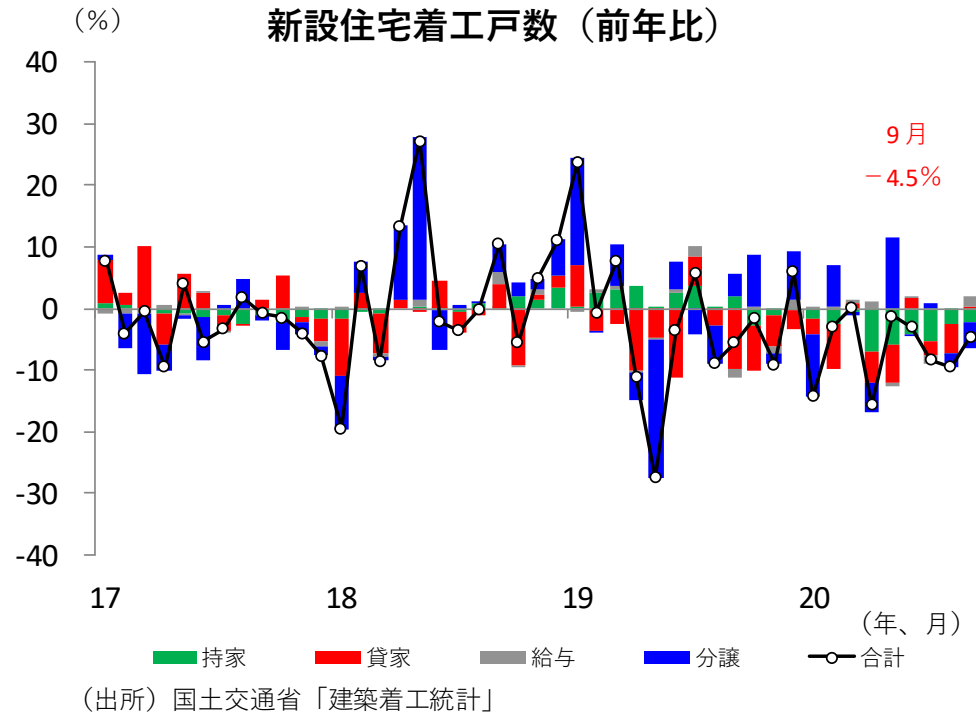
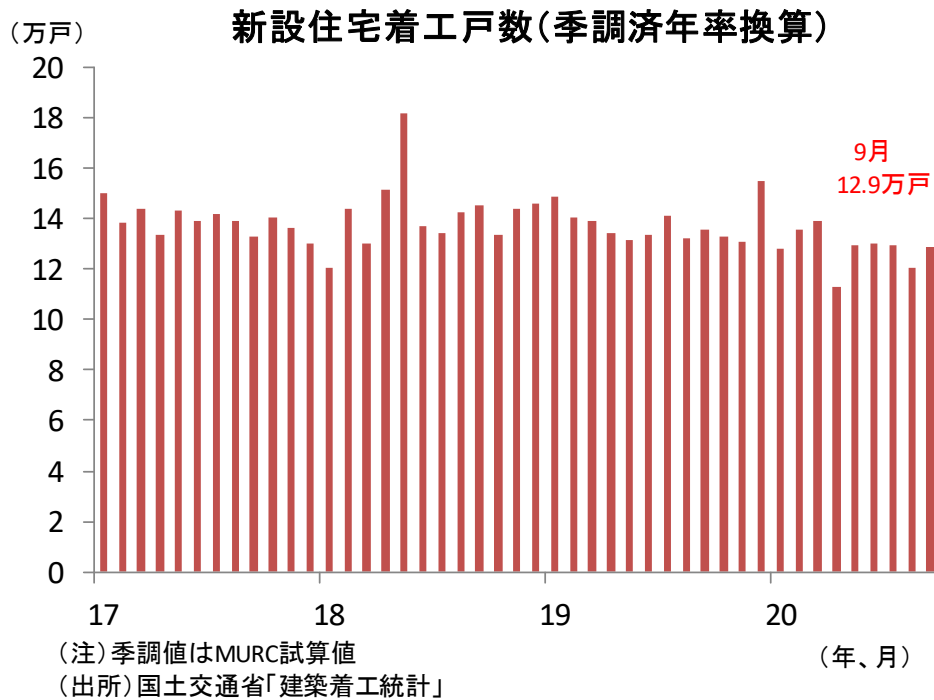
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 総務省「労働力調査」

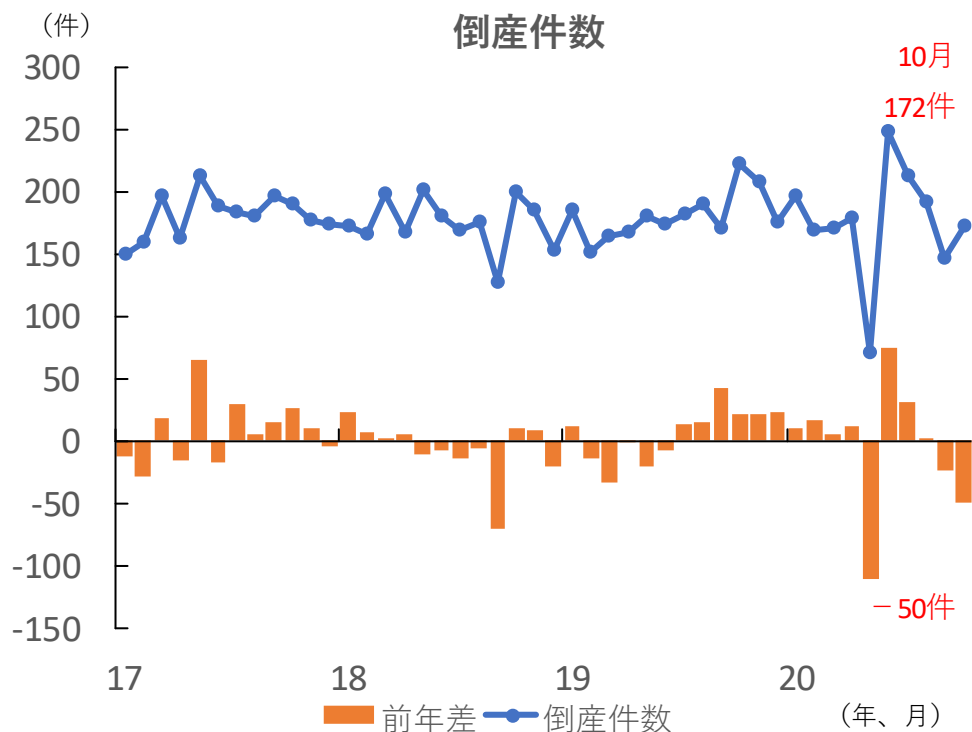
# 住宅投資

9月の住宅着工は季調・年率12.9万戸、前年比では-4.5%となり、弱含んでいる。貸家は小幅増加したが持家、分譲が減少した。



## 倒産

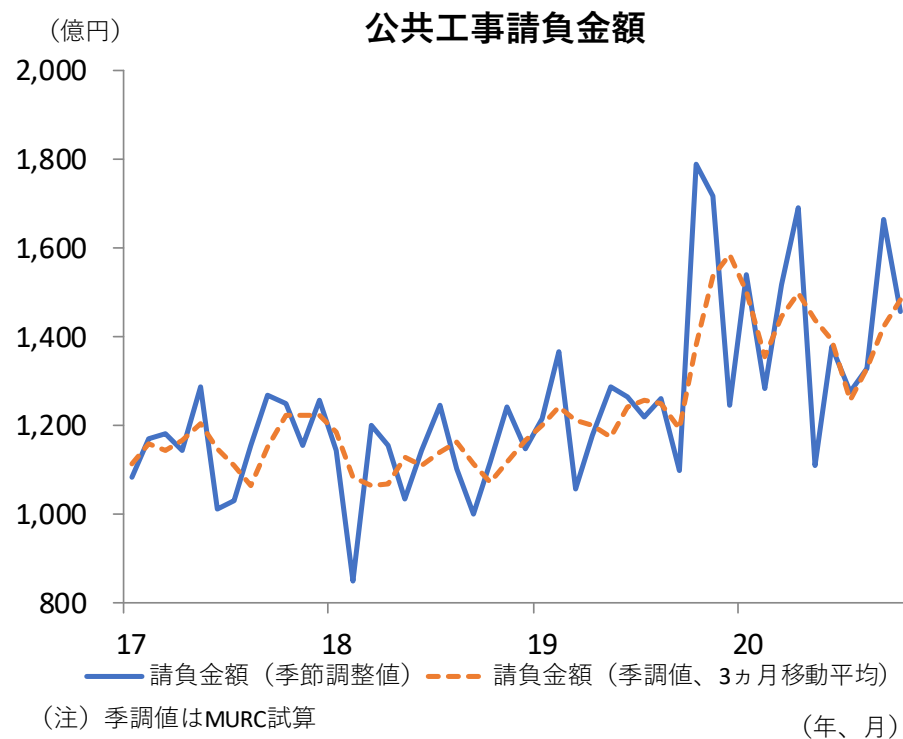
10月の倒産件数は172件(前年差-50件)と、前年に比べ低水準。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

## 公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください